

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：南房総地域に適する枝物用樹種の選定			
<p>[要約] 南房総地域に適し日持ち性が優れる枝物は、春ではツルマサキ「ハーレクイーン」他6樹種・9品種、秋ではアデク（屋久島産）、ゴードニア、冬ではアリゾナイトスギ「ブルーアイス」、オリーブ（「チプレッシーノ」、「フランドイオ」）である。オオデマリ他4樹種・5品種は挿し木に適する。</p>			
キーワード 枝物、日持ち性、適品種			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・暖地園芸研究所・野菜・花き研究室 協力機関 君津農業事務所、安房農業事務所		
実施期間	2010年度～2013年度		

[目的及び背景]

南房総地域は、観光・直売が盛んである一方、生産者の高齢化の問題や離農等の理由による耕作放棄地対策の問題がある。また、花き生産では新規栽培者もいるが初心者にとって一般に切り花の栽培は高度な技術が必要である。枝物生産は切り花生産と異なり管理が容易な植物が多く、高齢者や初心者でも対応が可能で、品目を組み合わせると周年出荷が可能である。また、耕作放棄地でも多少の管理を行うことで栽培が可能となるので、その有効利用にも貢献できる。そこで、南房総地域に適し、栽培が容易で日持ち性の良い枝物用樹種を選定する。

[成果内容]

- 1 春の枝物では、アリゾナイトスギ「ブルーアイス」（写真1）、スギ「オキナ（スギ）」、ローソンヒノキ（「コルムナリス グラウカ」、「ジョージ」）は葉の観賞価値が高い。ツルマサキ「ハーレクイーン」（写真2）、ノリウツギ「アナベル」（写真3）、フィソカルプス「ディアボロ」（写真4）は花及び葉の観賞価値が高い。ブルーベリー（「ブルークロップ」、「ウッダート」（写真5）、「シャープブルー」）は実及び葉の観賞価値が高い（表1）。
- 2 秋の枝物では、アデク（屋久島産）（写真6）は実及び葉の観賞価値が高い。ゴードニア（写真7）は葉の観賞価値が高い（表2）。
- 3 冬の枝物ではアリゾナイトスギ「ブルーアイス」及びオリーブ（「チプレッシーノ」（写真8）、「フランドイオ」（写真9））は葉の観賞価値が高い（表3）。
- 4 オオデマリ、カシワバアジサイ「スノークイーン」（写真10）及び「スノーフレック」（写真11）、ガマズミ「ステライル」、タニウツギ「ブリストルルビー」、ムラサキシキブ（写真12）は発根率が80%以上と高く、挿し木による増殖効率が低い（表1、表2）。

[普及対象地域]

南房総地域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 春に適する枝物の日持ち性調査及び挿し木試験結果（平成25年度調査）

樹種	品種	観賞部位	日持ち性調査 ¹⁾			挿し木試験 ²⁾	
			春1回目	春2回目	春3回目	供試穂数	発根率
アデク（屋久島産）		実、葉	×	-	-	28	0
アデク（小笠原産）		実、葉	×	-	-	32	0
アメリカザイフリボク（ジューンベリー）		葉	△	△	-	25	4
イヌコリヤナギ	白露錦	葉	×	-	×	31	58
イボタ	オーレア	葉	×	-	-	29	62
イボタ	バリエガータ	葉	×	-	-	27	4
オオデマリ		花、葉	×	-	-	27	93
オオベニウツギ	バリエガータ	花、葉	△	-	-	28	46
オリーブ	ミッション	葉	×	-	-	36	0
オリーブ	ルッカ	葉	×	-	-	26	19
オリーブ	レッチーノ	葉	×	-	×	25	0
オリーブ	フランドイオ	葉	×	-	-	34	0
オリーブ	チプレッシーノ	葉	×	-	-	22	18
カシワバアジサイ	スノークイーン	花、葉	×	×	×	22	86
カシワバアジサイ	スノーフレック	花、葉	×	×	×	20	80
ガマズミ	ステライル	花、葉	×	-	-	21	90
ガマズミ	スノーボール	花、葉	×	-	-	23	74
ガマズミ	フルブロック	花、葉	×	-	-	25	16
ゲッケイジュ	黄金	葉	×	-	-	9	0
シマトネリコ		花、葉	×	-	-	18	28
スモークツリー		葉	-	△	-	-	-
タニウツギ	ブリストルルビー	花、葉	△	-	-	28	89
ツルマサキ	ハーレクイーン	花、葉	○	-	-	25	16
ノリウツギ	アナベル	花、葉	-	△（○） ³⁾	×	-	-
ノリウツギ	ミナズキ	花、葉	×	-	-	25	48
ハンカチノキ		花、葉	×	-	-	23	0
ヒイラギナンテン	コンフェューザー	葉	△	-	-	21	10
フィソカルプス	ディアボロ	花、葉	○	-	-	23	61
フィソカルプス	オーレア	花、葉	×	-	-	17	47
フィソカルプス		花、葉	△	-	-	30	60
ムラサキシキブ		花、実、葉	×	-	-	22	86
メキシカンオレンジ（チョイシア）	サンダレス	花、葉	△	-	-	22	45
ブルーベリー	ブルークロップ	実、葉	-	○	-	-	-
ブルーベリー	ウッダート	実、葉	-	-	○	-	-
ブルーベリー	シャープブルー	実、葉	-	-	○	-	-
コニファー類							
アリゾナイトスギ	ブルーアイス	葉	○	-	-	28	4
スギ	オキナ（スギ）	葉	-	○	-	-	-
ローソンヒノキ	コルムナリス グラウカ	葉	○	-	-	33	12
ローソンヒノキ	ジョージ	葉	○	-	-	30	0

注1) 日持ち性の評価は、室温23℃、湿度70%、光強度 $10\mu\text{mol}\cdot\text{m}^{-2}\cdot\text{s}^{-1}$ 条件下の日持ち試験室で行い、
 ○：全枝健全、△：一部の枝のみ健全、×：全枝枯死または萎ちよう、の3段階で評価した
 春-1回目試験は平成25年5月10日処理、5月17日調査、春-2回目試験は6月6日処理、6月15日調査、
 春-3回目試験は6月19日処理、6月25日調査
 2) 挿し木試験：平成25年5月10日挿し木処理、6月19日調査。反復なし
 3) 平成23年度の試験結果（平均室温：20.5℃、湿度：73.0%）

表2 秋に適する枝物の日持ち性調査及び挿し木試験結果（平成25年度調査）

樹種	品種	観賞部位	挿し木試験 ²⁾		供試穂数	発根率
			秋1回目	秋2回目		
アデク（屋久島産）		実、葉	○	○	28	0
アデク（小笠原産）		実、葉	-	×	32	0
イヌコリヤナギ	白露錦	葉	-	×	31	58
オリーブ	レッチーノ	葉	×	-	25	0
オリーブ		葉	-	×	-	-
ガマズミ	フルブロック	花、葉	×	-	25	16
ゴードニア（タイワンツバキ）		葉	-	○	-	-
シセントキワガキ		葉	×	△	-	-
スダジイ	バリエガータ	葉	-	△	-	-
ナワシログミ		花、葉	-	△	-	-
ムラサキシキブ		花、実、葉	×	×	22	86
ローヤガキ		実、葉	-	×	-	-

注1) 日持ち性の評価は、室温23℃、湿度70%、光強度10μmol・m⁻²・s⁻¹条件下の日持ち試験室で行い、
 ○：全枝健全、△：一部の枝のみ健全、×：全枝枯死または萎ちょう、の3段階で評価した
 秋-1回目試験は10月30日処理、11月3日調査、秋-2回目試験は11月19日処理、11月29日調査
 2) 挿し木試験：平成25年5月10日挿し木処理、6月19日調査。反復なし

表3 冬に適する枝物の日持ち日数及び特性（平成23年度調査）

樹種	品種	観賞部位	日持ち日数 (日)	日持ち期間 (月/日-月/日)	特性	評価 ²⁾
	フラントイオ	葉	19	(1/27-2/20)	-	○
シマトネリコ	-	葉	3	(1/27-1/30)	水揚げ悪い	×
	パーリントン	葉	2	(11/30-12/2)	紅葉（赤）するが落葉早い	×
ブルーベリー	デライト	葉	5	(11/30-12/5)	紅葉（赤～黄）するが褐色で汚い	×
	ガーデンブルー	葉	9	(11/30-12/9)	紅葉着色薄い	△
	シャープブルー	葉	12	(11/30-12/12)	紅葉せず褐変する	△
アリゾナイトスギ	ブルーアイス	葉	30日以上	(1/27-)	樹液が出る	○

注1) 表中の括弧内は観賞期間を示す
 2) 評価は、○：日持ち日数が7日以上あり、葉色が観賞に適する △：日持ち日数が7日以上あるが、葉色が観賞に不適
 ×：日持ち日数が7日未満



写真1 「ブルーアイス」



写真2 「ハーレクイーン」



写真3 「アナベル」



写真4 「ディアボロ」



写真5 「ウッダート」



写真6 アデク（屋久島産）



写真7 ゴードニア



写真8 「チプレッシーノ」



写真9 「フラントイオ」



写真10 「スノークイーン」



写真11 「スノーフレーク」



写真12 「ムラサキシキブ」

[発表及び関連文献]

- 1 平成 26 年度試験研究成果発表会（観光直売部門）
- 2 プロジェクト研究「南房総地域における観光・直売に適した品目・品種の選定と栽培技術の確立」研究成果集、平成 25 年 3 月

[その他]

平成 21 年度試験研究要望課題（提起機関：君津農業事務所）